

# 第3回 総合学科発表会

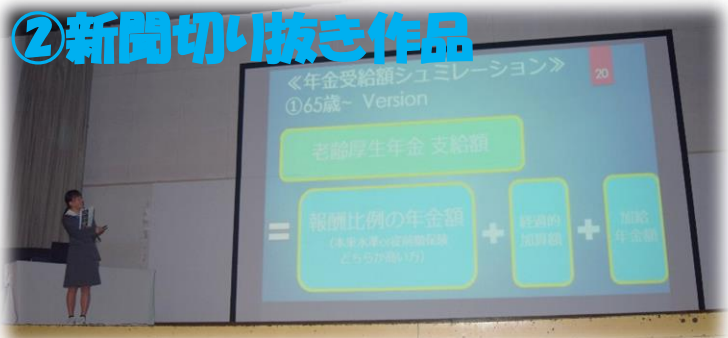
## 開催!

2月7日(木)、本校体育館で総合学科発表会が行われました。「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」や各系列の学びなど、総合学科ならではの多彩な学習活動の成果を代表者が全校生徒の前で発表しました。どれも素晴らしい発表ばかりで、生徒は発表者のプレゼンテーション能力の高さに驚嘆し、また自分の選択していない科目の学びを知り、学校全体で学習の成果を共有できた半日でした。以下は、当日のスナップと生徒による感想の抜粋です。



① キャンパス巡り

- ### プログラム
- ① 1年・産社「キャンパス巡り」について
  - ② 2年・総合「新聞切り抜き作品」について
  - ③ 総合 虫送りを使った地域活性化
  - ④ 特別研究 マイチャレンジインターンシップ体験報告
  - ⑤ 人間探求系列 国語表現での創作活動を通して
  - ⑥ 自然探求系列 坂道との角度と転がる距離の関係
  - ⑦ 国際理解系列 第二外国語(ハンガール)を学んで
  - ⑧ ビジネス系列 docomo近未来社会学生コンテスト
  - ⑨ 情報活用系列 もしも自分が学校案内の表紙を飾ったら
  - ⑩ 福祉サービス系列 校外実習を経験して
  - ⑪ 特別研究「漬け物で語る」  
~知らないと忘れるに立ち向かう人々~



② 新聞切り抜き作品



③ 虫送り



⑤ 国語表現



⑦ ハンガール

### <3年生女子生徒の感想(抜粋)>

私は人前で話すのは全然得意ではないし、むしろ嫌いな方なのでやろうといわれた時は正直嫌でした。全校生徒の前というのがさらに嫌でした。また、当日を想像しただけで緊張しました。

でも、みんなで案を出して話し合っていくうちに虫送りの魅力を再発見できたし、楽しいと思うようになりました。「ここは絶対伝えたいよね」「ここはざっくりでいこう」「この写真追加してほしい」などみんなで話し合っ、納得するまで改善して作ったからこそ自分たちの思いが伝えられたと思います。大変だったけど暗記をして話したからこそ思いをより伝えられたのではないかと思います。本番はとても緊張したけど、お互いに励ましあって乗り越えられました。

学校に残ってスライドを作ったり原稿を作ったりと、ずっと頑張っていたので終わった後の達成感はとても大きかったです。また、先生にも褒めてもらえたので安心しました。先生に声をかけてもらわなかったら、ずっとこの経験せずに人前で話すことからうまく逃げていたと思います。

この経験を通して自分の言葉で自分の思いを伝えることは素敵なことだし、大切なことだと思いました。舞台に立って話す同じ生徒の緊張もわかることができ、より楽しく人の発表を見ることができました。

### <3年生男子生徒の感想(抜粋)>

僕は今回総合学科発表会で発表を経験することができて、発表前の自分と比べて一回り成長することができたと感じています。今回の発表の準備をする際、担当の先生から「今回あのような場で発表するからには、これぞ3年生と言われるような発表をしよう。」と言われて、僕たちは本番で台本を読まずにプレゼンをすることになりました。僕は部活で何度か大勢の前で発表(プレゼン)したという経験がありますが、台本を全て覚えて発表するという経験はありませんでした。だから、初めは「暗記は無理かもしれない。」と弱気なことを思うときもありました。しかし、発表チームのメンバーと毎日練習を重ねていくうちに、台本を暗記できるようになり、余裕が出てきたことで、発表自体が楽しみになってきました。本番ではほんの少しミスもしてしまいましたが、自分の納得できる発表をすることができたと思っています。本番のステージは、とても緊張しましたが、メンバー全員で楽しみながら発表することができました。僕のこれまでの人生の中で、これほど緊張しながらも、楽しかったというものは、あまり見当たりません。

この日の夜、発表チームのメンバー同士で LINE をしたのですが、そこでみんなが口を揃えて言っていたことは、「今回の経験は自分を成長させてくれた。この経験は今後の自分にとって絶対プラスになる。」ということです。杏和高校では、総合学科であるという特徴を活かして、多様な学びを経験することができるので、そこで得られた成果を1年間の集大成として発表できる総合学科発表会は、発表する側がこれまでにない達成感を経験できることはもちろんですが、聞いている側もこれまで自分が気づかなかった杏和高校の学びを発見できる良い機会だと思います。

今回このような貴重な発表の場を与えてくださった杏和高校の先生方や、事前の発表準備に長い時間付き合ってください、「本来の発表のあるべき姿」について教えていただいた先生に、心から感謝したいと思います。本当にありがとうございました。総合学科発表会という、杏和高校の生徒の誰もが輝ける可能性のある貴重な場が、これからもなくなることなく、ずっと続いていくことを願っています。